



G-ACTION 2030

2025 年度



D ライセンスコーチ養成講習会 岐阜コース 報告書

日 程 : 2025 年 7 月 21 日(月)

場 所 : 講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参 加 者 : 39 人

チューター: 牧野 健 ・ 西尾 真央 ・ 馬渕 圭太 ・ 井森 秀歩

【参加者の感想】

・未経験者なので不安でしたがとても楽しく受講させていただきました。子供も頑張ってますので私もアップデートを続けようと思います。改めて具体的に言葉にすることの大切さが理解できました。

伊藤 智広さん(太田サッカーボー少年団)

・子どもたちいかに安全に楽しくサッカーの時間をつくるか、非常に勉強になりました。何よりも自分がもっとサッカーと関わる時間を楽しむといけないと思いました。

堀 信彦さん(加納西スポーツ少年団サッカー部)

・ありがとうございました。弟の影響で小学生のサッカーに関わることが増え、ライセンスをとってみようと思い参加しました。とてもためになる話をさせていただいてからの活動に活かしていきたいです。

大澤 志哉さん(郡上高校)

・本日はお疲れ様でした。指導者として大変勉強になる講習会でした。実技で馬渕さんのおっしゃっていた、インサイドパスでボールに回転がかかったり浮いたりした時に「違う」と言うのではなく、「それはカーブの蹴り方だよ」等ポジティブな伝え方に対するのはとても勉強になりました。是非今後の指導に活かせて頂きます。本日は本当にありがとうございました。

山崎 貴生さん(FC 南輪 UNITED)

・これまでの自分の子供を含めた子供達との接し方を考えさせられました。子供達が理解しやすいように楽しくサッカーがプレー出来るように指導を見直していきたいと思います。

田宮 智樹さん(各務原中央 SSS)

【担当チューターより成果と課題】

多くの方にご参加いただき感謝いたします。参加者の皆さんには講習会のキーワードであるオープンマインドな姿勢で講義・実技に臨んでくださいました。年齢別のグルーピングにより活発なディスカッションや意見交流が見られ、いい雰囲気の講習会だったと思います。参加者の感想をみると、D ライセンスの目的である「サッカーの楽しさ」や「安心安全」という言葉が多く見られ、私たちの意図が伝わっているように感じました。

皆さんのが今回感じられたことを、チーム関係者・選手の保護者・学校や自治会の関係者等多くの方に情報共有いただけると幸いです。安心安全なサッカー環境が広がることを願っています。

牧野 健

【講義・実技の様子】





G-ACTION 2030

2025 年度



D ライセンスコーチ養成講習会 女性コース 報告書

日 程 : 2025 年 7 月 21 日(月)

場 所 : 講義会場・長良川スポーツプラザ大会議室 実技会場・新日本ガス球技メドウ

参 加 者 : 3 人

チューター: 牧野 健 ・ 西尾 真央 ・ 馬渕 圭太 ・ 井森 秀歩

【参加者の感想】

・ 子供たちの安全安心を守りながら、サッカーが楽しくなるようにこれから指導をしていきたいです。実技も何が子供たちに出来なくて足りないのか考えて指導をすることができて良かったです。最後のゲームも楽しくやれて良かったです！
高橋 幸羽さん(JFC 若鮎城西)

・ 常にオープンマインドの精神で相手と接することで、他者理解が進み信頼関係が構築できます。指導者と子どもたちだけでなく、親子関係でも言えると思います。今後の子育てや仕事にも生かして行きたいと思います。
椎名 麻里子さん

・ サッカーの知識はほとんど無い私にとって不安も少しありましたが講師の先生方やご一緒にさせていただいたみなさんのおかげで、楽しく学ぶことができました。印象的だったのは、技術的な面だけでなく、子どもとの接し方、声かけの工夫、子どもの自立や主体性を引き出すための指導法など、多くの学びがありました。講習会の中ではディスカッションの時間も多く取られて、インプットだけでなくアウトプットする場面もあり、みなさんの意見も知ることが出来有意義な時間でした。サッカーの楽しさに加え育成という観点の大切さにも触ることができ、良い経験になりました。忙しい毎日を送る息子もスポーツを通じて、技術だけでなく、指導者や仲間との関わりの中から多くの事を学んでいるのだと改めて感じました。より良い指導者が増え、年齢関係なくサッカーを心から楽しめる人が私も含めさらに増えて欲しいと思いました。これからも親子で成長していきたいと思います。

秋山 友香さん

【担当チューターより成果と課題】

皆さん、ご参加いただきありがとうございます。一方通行の講習会ではなく、参加者主体のディスカッションではたくさんの意見を出し合い、オープンマインドでお互いを尊重しながら話していたことが印象的でした。普段のサッカーの環境でも、安心安全に子どもたちが主体的に活動できるように導いていけるよう、今後もサッカー指導者として一緒に学んでいきましょう。
西尾 真央

【講義・実技の様子】

